



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT2392S		
科目名	国際自然・環境論		
担当教員	山添 謙		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	土 1		
講義室	オンライン	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E〔学識・専門技能〕専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。</p> <p>DP4-I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (C R) との関連 E1 学識と専門技能 (40%) I1 理解・分析と読解 (30%) I2 量的分析 (15%) I3 情報分析 (15%)</p>		
教員の実務経験	なし		
成績ターゲット区分	2 進行期～3 発展期		
科目概要・キーワード	<p>環境問題は、人間社会が現状の社会システムを振り返りつつ解決を求められている課題です。人間社会がグローバル化し環境問題も地球規模化が進む中で、あらためて「人間にとっての環境」について考えるとともに、個人からグローバル社会へ、室内環境から地球環境へと視座を変えながら、環境問題解決のための課題やその手法について検討します。典型的な地球環境問題を事例に挙げ、その発生メカニズムを理解したうえで、国境を超越した環境問題解決の課題について考察を行います。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニング(遠隔授業)を取り入れる場合があります。</p>		
授業の趣旨	<p>■ 副題 地球環境問題はあなたにとってどのような危機をもたらしますか？</p> <p>■ 授業の目的 20世紀の後半以降、様々な「地球的課題」が顕在化しており、人間社会を取り巻く自然環境との関係においても切実な問題を抱えています。地球環境問題は空間スケールが広く、身近な生活空間とのかかわりは必ずしも明確に認識しにくい現象ですが、私たちの社会とも密接な関係があります。典型的な地球環境問題を「自分事」としてとらえられるようになることを本講義の目的とします。</p> <p>■ 授業のポイント ローカルやグローバルといった空間の広さを示す概念をうまく整理しながら授業に臨むと理解しやすいと思われます。</p>		
総合到達目標	<p>■ 人間-環境系の中で、人間活動の肥大化に伴う地球環境問題の顕在化とそれへの対応について理解し、その背景や問題点について考える。 ・人間にとっての自然環境について、人間と自然環境との関係について説明できる。(1回～</p>		

	<p>2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> 異なる空間スケールの環境問題を比較し、地球環境問題の特徴について説明できる。(3回～4回) オゾン層の破壊を例に地球環境問題の特徴、その解決スキームについて説明できる。(5回～6回) 典型的な地球環境問題についてそれらの特徴を説明できる。(7～13回) 地球環境問題を顕在化させた背景について説明できる。(14回～15回) 										
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■オゾン層破壊と地球温暖化に対する国際的取り組みの比較(10%) 適用ルーブリックE1、I1、I2、I3 (評価の観点)両者の比較がわかりやすく行われているか。 (フィードバック方法)授業中に解説し、LMSを通じてコメントします。 ■アフリカ地域における地球環境問題と社会問題との関係に関するレポート(40%) 適用ルーブリックE1、I1、I2、I3 (評価の観点)アフリカの現状認識について述べ、地球環境問題との関係を論理的に説明できているか。 (フィードバック方法)授業中に解説します。 ■学期末試験;後学期末試験期間(1月28日または29日)に実施(50%) 適用ルーブリックE1、I1、I2、I3 (評価の観点)授業内容の理解度を「知識」を中心に問います。 (フィードバック方法)LMSを通じて受講者全体にコメントします。 										
履修条件	総合科目「地理学1, 2」「地球科学1, 2」を履修していることが望ましい。										
履修上の注意点	自然現象の理解には自然科学的な思考が必要ですが、粘り強く取り組んでください。										
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="464 840 518 891">回</th> <th data-bbox="518 840 1495 891">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="464 891 518 1227">1</td> <td data-bbox="518 891 1495 1227"> <ul style="list-style-type: none"> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 本科目の名称に基づいて、「国際」「環境」「自然環境」の語から本講義の目的と意義について説明を聞き、危機管理学の学修と本講義との関係について考える。(E1) ③予習(120分) 国際・自然環境論のシラバスを精読する。 ④復習(120分) 地球環境問題の顕在化が、人間社会における危機とどのように関係しているのかを考える。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1227 518 1529">2</td> <td data-bbox="518 1227 1495 1529"> <ul style="list-style-type: none"> ①授業テーマ 人間-環境系における自然環境 ②授業概要 人間と自然との関係を、人間-環境系の定義に基づいて考え、人間が自然に与える影響と自然が人間に与える影響について説明できる。(E1、I1) ③予習(120分) 予習動画を視聴し、人間-環境系における人間と自然について整理する。 ④復習(120分) 環境問題の例を挙げ、具体的な問題点を挙げる。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1529 518 1865">3</td> <td data-bbox="518 1529 1495 1865"> <ul style="list-style-type: none"> ①授業テーマ ローカルな環境問題としての公害問題 ②授業概要 日本の高度経済成長期に顕在化した「公害」を例にして、環境問題の発生とその背景、その対応策について説明できる。四大公害訴訟の後に整えられて環境行政組織とその役割について説明できる。(E1、I1) ③予習(120分) 予習動画を視聴し、四大公害の概要について調べておく。 ④復習(120分) 日本の環境行政のしくみについて整理する。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1865 518 2157">4</td> <td data-bbox="518 1865 1495 2157"> <ul style="list-style-type: none"> ①授業テーマ 環境問題がグローバル化するとはどういうことか。 ②授業概要 環境問題を引き起こす行為が広域化する背景について説明できる。地球環境問題の発生とその取り組みの特徴について説明できる。(E1、I1、I2、I3) ③予習(120分) 予習動画を視聴し、長崎県対馬市の海岸に漂着する物質の特徴について整理する。 ④復習(120分) 「典型的な地球環境問題」の事例をいくつか挙げ、それらの共通点について考察す </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	<ul style="list-style-type: none"> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 本科目の名称に基づいて、「国際」「環境」「自然環境」の語から本講義の目的と意義について説明を聞き、危機管理学の学修と本講義との関係について考える。(E1) ③予習(120分) 国際・自然環境論のシラバスを精読する。 ④復習(120分) 地球環境問題の顕在化が、人間社会における危機とどのように関係しているのかを考える。 	2	<ul style="list-style-type: none"> ①授業テーマ 人間-環境系における自然環境 ②授業概要 人間と自然との関係を、人間-環境系の定義に基づいて考え、人間が自然に与える影響と自然が人間に与える影響について説明できる。(E1、I1) ③予習(120分) 予習動画を視聴し、人間-環境系における人間と自然について整理する。 ④復習(120分) 環境問題の例を挙げ、具体的な問題点を挙げる。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ①授業テーマ ローカルな環境問題としての公害問題 ②授業概要 日本の高度経済成長期に顕在化した「公害」を例にして、環境問題の発生とその背景、その対応策について説明できる。四大公害訴訟の後に整えられて環境行政組織とその役割について説明できる。(E1、I1) ③予習(120分) 予習動画を視聴し、四大公害の概要について調べておく。 ④復習(120分) 日本の環境行政のしくみについて整理する。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ①授業テーマ 環境問題がグローバル化するとはどういうことか。 ②授業概要 環境問題を引き起こす行為が広域化する背景について説明できる。地球環境問題の発生とその取り組みの特徴について説明できる。(E1、I1、I2、I3) ③予習(120分) 予習動画を視聴し、長崎県対馬市の海岸に漂着する物質の特徴について整理する。 ④復習(120分) 「典型的な地球環境問題」の事例をいくつか挙げ、それらの共通点について考察す
回	内容										
1	<ul style="list-style-type: none"> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 本科目の名称に基づいて、「国際」「環境」「自然環境」の語から本講義の目的と意義について説明を聞き、危機管理学の学修と本講義との関係について考える。(E1) ③予習(120分) 国際・自然環境論のシラバスを精読する。 ④復習(120分) 地球環境問題の顕在化が、人間社会における危機とどのように関係しているのかを考える。 										
2	<ul style="list-style-type: none"> ①授業テーマ 人間-環境系における自然環境 ②授業概要 人間と自然との関係を、人間-環境系の定義に基づいて考え、人間が自然に与える影響と自然が人間に与える影響について説明できる。(E1、I1) ③予習(120分) 予習動画を視聴し、人間-環境系における人間と自然について整理する。 ④復習(120分) 環境問題の例を挙げ、具体的な問題点を挙げる。 										
3	<ul style="list-style-type: none"> ①授業テーマ ローカルな環境問題としての公害問題 ②授業概要 日本の高度経済成長期に顕在化した「公害」を例にして、環境問題の発生とその背景、その対応策について説明できる。四大公害訴訟の後に整えられて環境行政組織とその役割について説明できる。(E1、I1) ③予習(120分) 予習動画を視聴し、四大公害の概要について調べておく。 ④復習(120分) 日本の環境行政のしくみについて整理する。 										
4	<ul style="list-style-type: none"> ①授業テーマ 環境問題がグローバル化するとはどういうことか。 ②授業概要 環境問題を引き起こす行為が広域化する背景について説明できる。地球環境問題の発生とその取り組みの特徴について説明できる。(E1、I1、I2、I3) ③予習(120分) 予習動画を視聴し、長崎県対馬市の海岸に漂着する物質の特徴について整理する。 ④復習(120分) 「典型的な地球環境問題」の事例をいくつか挙げ、それらの共通点について考察す 										

	る。
5	<p>①授業テーマ 「オゾン層の破壊」を例に地球環境問題の特徴を考える－1－</p> <p>②授業概要 オゾン層の特徴とその役割について説明できる。オゾン層の破壊が起きる仕組みやその背景について説明できる。(E1、I1、I2、I3)</p> <p>③予習(120分) 予習動画を視聴し、「オゾンホール発見」について調べる。</p> <p>④復習(120分) フロンガスはどのような用途に使われ、社会にどのようなベ根気をもたらしたのかを整理する。</p>
6	<p>①授業テーマ 「オゾン層の破壊」を例に地球環境問題の特徴を考える－2－</p> <p>②授業概要 「オゾン層の破壊」の実態と対応について、どのような国際的な取り組みがなされたかを説明できる。(E1、I1、I2、I3)</p> <p>③予習(120分) 予習動画を視聴して、「モントリオール議定書」について調べる。</p> <p>④復習(120分) オゾン層の現状から、オゾン層破壊に対する取り組みの状況を評価する。</p>
7	<p>①授業テーマ 典型的な地球環境問題－酸性雨－</p> <p>②授業概要 酸性雨の発生メカニズムについて説明できる。酸性物質の長距離輸送を踏まえた対策について説明できる。(E1、I1、I2、I3)</p> <p>③予習(分) 予習動画を視聴して、酸性度(pH)の意味と、炭酸水の酸性度について調べる。</p> <p>④復習(分) ヨーロッパと東アジアとを比較し、酸性雨対策の相違についてまとめる。</p>
8	<p>①授業テーマ 典型的な地球環境問題－地球温暖化－</p> <p>②授業概要 地球温暖化の発生メカニズムについて説明できる。地球温暖化対策として、緩和策と適応策について説明できる。(E1、I1、I2、I3)</p> <p>③予習(120分) 予習動画を視聴して、「気候危機」の定義について調べる。</p> <p>④復習(120分) 「オゾン層の破壊」と「地球温暖化」に対する国際的な取り組みを比較し、その相違を整理する。</p>
9	<p>①授業テーマ 典型的な地球環境問題－地球温暖化－</p> <p>②授業概要 地球温暖化の発生メカニズムについて説明できる。地球温暖化対策として、緩和策と適応策について説明できる。(E1、I1、I2、I3)</p> <p>③予習(120分) 予習動画を視聴して、「気候危機」の定義について調べる。</p> <p>④復習(120分) 「オゾン層の破壊」と「地球温暖化」に対する国際的な取り組みを比較し、その相違を整理する。</p>
10	<p>①授業テーマ 典型的な地球環境問題－生物多様性の減少－</p> <p>②授業概要 生物多様性が求められる理由を説明できる。生物多様性を維持するための国際的取り組みについて説明できる。(E1、I1、I2、I3)</p> <p>③予習(120分) 予習動画を視聴して、生物多様性とは何かを調べる。</p> <p>④復習(120分) アフリカ、東南アジア、南アメリカの森林破壊を比較しその相違を考察する。</p>
11	<p>①授業テーマ 典型的な地球環境問題－有害廃棄物の越境移動－</p>

	<p>②授業概要 有害廃棄物の越境移動が発生する背景について説明できる。有害廃棄物処理に関する国際的な取り組みについて説明できる。</p> <p>③予習（120分） 予習動画を視聴して、日本における廃棄物処理規制について調べる。</p> <p>④復習（120分） 発展途上国における有害廃棄物処理の現状について事例を挙げて説明する。</p>
12	<p>①授業テーマ 典型的な地球環境問題—海洋汚染—</p> <p>②授業概要 海洋汚染の種類や現状について説明できる。海洋汚染に対する国際的取り組みについて説明できる。（E1、I1、I2、I3）</p> <p>③予習（120分） 予習動画を視聴して、プラスチック海洋汚染が注目された経緯を調べる。</p> <p>④復習（120分） 日本の海洋汚染対策について調べる。</p>
13	<p>①授業テーマ 典型的な地球環境問題—砂漠化—</p> <p>②授業概要 砂漠化が発生するメカニズムについて説明できる。砂漠化に対する国際的取り組みについて説明できる。（E1、I1、I2、I3）</p> <p>③予習（120分） 予習動画を視聴して、「サヘル」における砂漠化の現状について調べる。</p> <p>④復習（120分） 砂漠化と人間社会の諸問題との関係について整理する。</p>
14	<p>①授業テーマ 地球環境問題の背景—人口爆発—</p> <p>②授業概要 国別の1人あたりのエネルギーや資源の消費量の特徴について説明できる。「発展」の意味について考えを述べるができる。（E1、I1、I2、I3）</p> <p>③予習（120分） 予習動画を視聴して、20世紀後半以降の世界人口の変化について調べる。</p> <p>④復習（120分） 「グリーン経済」について調べる。</p>
15	<p>①授業テーマ 地球環境問題とMDGs・SDGs</p> <p>②授業概要 地球サミット以降の地球環境問題への取り組みを整理し説明できる。SDGsのコンセプトと地球環境問題との関係について説明できる。（E1、I1、I2、I3）</p> <p>③予習（120分） 予習動画を視聴して、アジェンダ21について調べる。</p> <p>④復習（120分） 15回分の授業の内容を振り返り、学期末試験の対策を行う。</p>
関連科目	地理学 1（RMGT/SSCS 1127）、地理学 2（RMGT/SSCS 1128）、地球科学 1（RMGT/SSCS 1155）、地球科学 2（RMGT/SSCS 1156）
教科書	なし
参考書・参考URL	授業中に指示します。
連絡先・オフィスアワー	
研究比率	<p>■危機管理領域との対応 災害マネジメント領域：25%、パブリックセキュリティ領域：25%、グローバルセキュリティ領域：25%、情報セキュリティ領域：25%</p> <p>■危機管理学と法学のバランス 危機管理学：80%、法学：20%</p>



